

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

住宅・まちづくりに関する、以下の報告区分に該当する研究論文（設計・計画・実践事例研究を含む）とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもの（設計・計画事例研究を含む）で、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに関して、大会学術講演会等で口頭発表したものを発展させたものや、何編かをまとめて一連の研究としたもので、まとまりのあるもの
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・実践事例などに関する研究報告

(2) 審査のスケジュール

◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上及びHPにて「第5回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。
2010年5月14日 応募登録締め切り。応募総数78題。

◇研究論文投稿

2010年7月7日 投稿締め切り。投稿論文総数51編。

◇一次審査

2010年7月8日～12日 運営幹事会による形式審査の結果、計6編を審査対象外と判定。

2010年7月12日～7月30日 上記6編を除く45編について、査読者による審査。

2010年8月4日 一次判定会議開催。採用2編、再提出36編、不採用7編を判定。

◇再提出投稿

2010年9月5日 再提出締め切り。再提出36編。

◇二次審査

2010年9月7日～9月21日 査読者による二次審査。

2010年9月27日 最終判定会議開催。採用32編、不採用4編を判定。

(3) 審査の概要

◇形式審査

投稿論文（51編）について、運営幹事会による形式審査の結果、未完成論文3編、応募登録時とタイトル・内容が大幅に異なる論文1編、住宅系研究の範疇に含まれないと判断された論文3編、計6編を審査対象外と判定した。

◇一次審査

投稿論文（45編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」2編、「採用+再提出」11編、「再提出+再提出」19編、「再提出+不採用」8編、「不採用+不採用」2編であった。

このうち、「再提出+不採用」論文8編について採否の審議を行い、6編を再提出、2編を不採用とした。
以上の結果、採用2編、再提出36編、不採用7編とした。

◇二次審査

再提出論文（36編）について最終的な査読者の判定は、「採用+採用」31編、「採用+不採用」3編、「不

採用＋不採用」2編となった。このうち、「採用＋不採用」論文3編について採否の審議を行い、1編を採用、2編を不採用と判定し、採用32編、不採用4編とした。

一次審査の結果と合わせて投稿論文51編の最終的な判定結果は、採用34編、不採用11編、形式不可6編となった。

(4) 報告会の運営

①幹事（五十音順）

伊藤史子（首都大学東京）	碓田智子（大阪教育大）
岡絵理子（関西大）	神吉紀世子（京都大）
木内 望（国土技術政策総合研究所）	小池孝子（日本女子大）
佐々木誠（日本工業大学）	鈴木雅之（千葉大）
野澤 康（工学院大）	平田隆行（和歌山大）
森本信明（近畿大）	吉田友彦（立命館大）

②査読者（五十音順）

浅沼由紀（文化女子大）	新井信幸（東北工業大）	有賀隆（早稲田大）
市古太郎（首都大学東京）	伊藤史子（前掲）	碓田智子（前掲）
岡絵理子（前掲）	門脇耕三（首都大学東京）	神吉紀世子（前掲）
木内 望（前掲）	工藤和美（明石工業高等専門学校）	
窪田亜矢（東京大）	倉知徹（神戸芸術工科大）	栗原伸治（日本大）
栗山尚子（神戸大）	黒野弘靖（新潟大）	小池孝子（前掲）
小杉学（愛知産業大）	後藤隆太郎（佐賀大）	小林秀樹（千葉大）
小林史彦（金沢大）	近藤民代（神戸大）	斎藤雪彦（千葉大）
佐々木誠（前掲）	篠崎正彦（東洋大）	柴田建（九州大）
鈴木雅之（前掲）	鈴木浩（福島大）	瀬田史彦（大阪市立大）
高田光雄（京都大）	田口太郎（新潟工科大）	中島明子（和洋女子大）
中田 悟（東京都市大）	野澤 康（前掲）	花里俊廣（筑波大）
平田隆行（前掲）	藤井さやか（筑波大学）	藤岡泰寛（横浜国立大）
真境名達哉（室蘭工大）	松本暢子（大妻女子大）	松山明（中部大）
間野 博（広島県立大）	真野洋介（東京工業大）	薬袋奈美子（日本女子大）
森永良丙（千葉大）	森本信明（前掲）	森保洋之（広島工業大）
安武敦子（駒沢女子大）	山崎さゆり（田園調布学園大）	山崎寿一（神戸大）
山崎義人（兵庫県立大）	山中知彦（兵庫県立大）	吉田友彦（前掲）